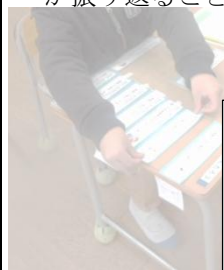




## あじさい2組 自立活動 「まあいっか名人になろう」

学習活動・予想される児童の反応		本時見られた深く学び続ける子どもの姿						
<p>1 前時の振り返りをし、本時のめあてをつかむ。</p> <p>○ 前時に取り組んだ、気持ち切り替えチケットを振り返る。本時につながる動画を見る。</p>		<p>○ 教師による動画（ゲームに負けそうでイライラし、気持ちの切り替えができなかったときと、できたとき）を見ることで、本時の場面設定やゴールを確かめることができた。</p> <p>○ 先生チームのゲームの動画を見ることでゲームの仕方や先生との対抗戦という状況を把握することができた。（ICT）</p> <p>○ 自分の学習方法をチケットという可視化した形にすることで、とらえやすくなった。また、子ども用の小さいチケットを用意し、選んだチケットを机に貼ることで、自分がどんな方法に取り組んだのか振り返ることができた。（資料1）</p>						
<p>自分にぴったりの 気持ち切り替えチケットを見つけよう。</p>								
<p>2 ゲームの動画を見て、取り組む。（時間制限や先生チームとの対抗戦という場面を設定しゲームに取り組む。3分間で音が鳴る合計数を競う。）</p>		 <p style="text-align: center;"><b>【資料1】</b> 子ども用のチケットを机に貼る様子】</p>						
<p>3 ゲームに負けそうでイライラしているときの自分の気持ち切り替えチケットを選ぶ。チケットを使ってみながら、自分に合った方法を見つける。</p> <p style="text-align: center;"><b>【方法選択】（自分に合った方法を選ぶ）</b></p> <table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">大きな声を出すとすっきりする。</td> <td style="width: 15%;">紙を破るとすっきりする。</td> <td style="width: 15%;">寝転ぶことが好き。</td> <td style="width: 15%;">体を動かすのが好き。</td> <td style="width: 15%;">外が好き。</td> <td style="width: 15%;">おしゃべりが好き。</td> </tr> </table>			大きな声を出すとすっきりする。	紙を破るとすっきりする。	寝転ぶことが好き。	体を動かすのが好き。	外が好き。	おしゃべりが好き。
大きな声を出すとすっきりする。	紙を破るとすっきりする。		寝転ぶことが好き。	体を動かすのが好き。	外が好き。	おしゃべりが好き。		
根拠	<table border="1" style="width: 100%; text-align: center; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 15%;">「くやしいと一回言う。</td> <td style="width: 15%;">いらない紙を破る。</td> <td style="width: 15%;">教室のベンチで寝る。</td> <td style="width: 15%;">深呼吸をして体操する。</td> <td style="width: 15%;">ドアを開けて外を眺める。</td> <td style="width: 15%;">まあいっかと言う。</td> </tr> </table>		「くやしいと一回言う。	いらない紙を破る。	教室のベンチで寝る。	深呼吸をして体操する。	ドアを開けて外を眺める。	まあいっかと言う。
「くやしいと一回言う。	いらない紙を破る。	教室のベンチで寝る。	深呼吸をして体操する。	ドアを開けて外を眺める。	まあいっかと言う。			
方法	<p style="text-align: center;"><b>【個別と協働の一体的充実】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>一回戦を終えて自分の気持ち切り替えチケット（方法）に取り組む。どのチケットを使ったか友達に話す。</li> <li>二回戦を終えて、気持ち切り替えチケット（方法）を選び直して使う。どのチケットを使ったか友達に話す。</li> </ul>							
<p>○ 一、二回戦を終えて、選んだ方法について話す。そのわけを話す。友達の方法を聞く。</p>		 <p style="text-align: center;"><b>【資料2】</b> チケットの内容を試している姿】</p>						
<p>4 学習をまとめ、振り返る。</p> <p>○ 振り返りシートに書く。</p>								
<p>自分に合った方法を見つけると、イライラせずに、まあいっかと思うことができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>まあいっかと思うことができた。わけは、声を出してすっきりしたから。</li> <li>つぎはドッチボールでイライラしたときに、チケットを使ってみたいと思った。</li> </ul>		 <p style="text-align: center;"><b>【資料3】</b> 気持ち切り替えチケット】</p>						
<p>○ 自己選択・自己決定の場であるつなぎタイムのときに自分の学習方法をチケットという可視化した形にすることでとらえやすくなるようにした。また、子どもたちが進んで選ぶことができるように個々の実態に合ったチケットを用意しておいた。この手立ては、自己選択、自己決定という頭の中や口頭で行う作業をチケットを選ぶという形にすることで、子どもたちが選ぶ、決める、やってみるという実感をもつことができるようになった。</p> <p>△ しかし、個々の実態にあったものかと思いき、チケットの数を用意しすぎて、子どもたちがどれを使えばいいのか迷ってしまう状況が出てきていた。</p> <p>○ 自立活動では、それぞれ自分にどのような特性があるのか理解し、それらからどんな困り感があるのか考え、その状況に応じて自分の行動や感情を調整していくことに取り組んでいくので、自己調整学習は有効だったと考えている。</p>								